

情報アラカルト

●「とよなか女性防災プロジェクト」

すてっぷでは、内閣府主催の「平成 23 年度地域における男女共同参画連携支援事業」に応募・採用された、「とよなか女性防災プロジェクト」運営事業を実施しました。

豊中市内の公共団体、公共施設、教育機関、市民団体等と連携し、女性の視点をいかした豊中の防災について 3 回の検討委員会を開催し、「とよなか女性防災ノート」の作成、「とよなか女性防災キット」の企画を進めました。委員会の様子はニュースレターで配信しています。

「とよなか女性防災プロジェクト」ニュースレター <http://www.toyonaka-step.jp/about/bousai.html>

●とよなか女性防災ノート——すてっぷ制作チームがこめた願い—— ※ノートは 4 月より配布

東日本大震災の被災地から伝わってくる諸状況を勘案すると、男女共同参画の立場から防災計画を見直してきたのかには疑問が残る。女性に配慮できる仕切りが避難所に届いたと仮定して、ここで問題になるのは、その運用である。男女共同参画の目線に立った避難所の運用ができるかどうかは、避難所の運営に権限を持った人の力量が問われることになる。被災してからどうしようではなく、平時に、男女共同参画から推奨できる運用マニュアルを作成し、常にシミュレーションを重ね、問題点の改善を工夫しながら、防災にかかわる一人ひとりに、その運用が染み付いている、そんな状況を作りあげることが求められる。

大阪府豊中市域が被災した場合を想定し、豊中市役所各部署や NPO 法人、市民団体が、どのような協力関係のもとに、男女共同参画をしっかりと入れ込んだうえで、互いのハウツウを補いあうための基本枠組みを構築することができるか、まずは知恵をだしあう冊子づくりを試みた。女性目線を大切にする防災への取り組みの第一歩を踏み出したが、今後、今回できたネットワークを充足させていかねばならない。

●震災・防災関連の行政資料 *各種行政資料は、情報ライブラリーで閲覧できます。

ホームページからご自宅でもダウンロードできます

- ・母と子の防災・減災ハンドブック(ファミリー向け)人と人とのつながりを大切に

兵庫県立男女共同参画センター (イーブン) / 発行

- ・YOKOHAMAわたしの防災カノート <http://www.women.city.yokohama.jp/bousai/>

防災カシートあり。ダウンロードできます

(公財) 横浜市男女共同参画推進協会 横浜市民局男女共同参画推進課/発行

- ・女と男が共に生きる未来へ step 泉南市 vol.16「わたしの防災力」

泉南市人権推進課/発行

- ・女性の視点からの防災対策のススメ 男女が共に支え助け合える地域づくり防災体制づくり

大分県生活環境部 県民生活・男女共同参画課/発行

●インターネットで学ぶ&情報探し

男女共同参画の視点を踏まえた東日本大震災への対応について <http://www.gender.go.jp/saigai.html>

内閣府男女共同参画局では、女性や子育てのニーズを踏まえた災害対応を進めるため、関係機関への情報提供・働きかけ・連携を行っています。また、男女共同参画の視点を踏まえた被災者に対する支援等について、様々な情報を提供しています。女性と防災に関するリンク集など掲載。

おおさか防災ネット <http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>

大阪府下の防災情報など。

災害と女性センター <http://j-kaikan.jp/help/>

全国女性会館協議会が関連団体と協力して、災害時における必要な支援情報を提供しています。

情報ライブラリー利用案内

利用時間 月～土 10:00～20:00
日 曜 10:00～17:00

(情報相談は閉室 30 分前まで)

休室日

毎週水曜、毎月最終火曜、祝日(日曜の場合は翌日)、
年末年始、特別整理期間

Stepping Out 第 22 号 2012 年 3 月 31 日発行

編集：すてっぷ・情報ライブラリー

発行：財団法人とよなか男女共同参画推進財団

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町 1-1-1-501

TEL 06-6844-9735 FAX 06-6844-9706

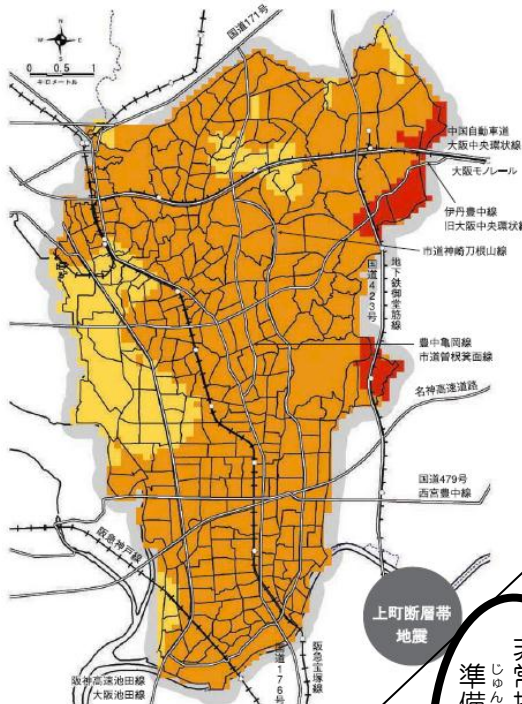
<http://www.toyonaka-step.jp/>

地域力UPで防災・減災

～そして「もしも被災したら」を考える～

想定される震度

- 豊中市域に大きな影響を及ぼすと想定される地震は、上町断層帯地震、有馬-高槻断層帯地震、六甲・淡路島断層帯地震および東南海・南海地震です。
- 市域の想定震度は、上町断層帯地震では全域で震度6弱以上、一部地域で震度7の強い揺れが予測されます。東南海・南海地震では、全域が震度5弱から震度6弱となることが予測されます。



震度(計測震度)	
●	震度7 (6.5～)
●	震度6強 (6.0～)
●	震度6弱 (5.7～)
●	震度6弱 (5.5～)
●	震度5強 (5.3～)
●	震度5強 (5.0～)
●	震度5弱 (4.5～)

震度6弱と震度5強は、地域の震度をより詳細に理解していただくため、2段階に分けて表示しています。

※各断層による地震動は、市域全体への影響が大きいケースを対象としています。したがって、場所によっては更に影響の大きい揺れが発生する場合もあることに注意してください。

出典
『わが家の防災マップ
～いのちを守るために～
防災マニュアル保存版』
豊中市危機管理室
編集・発行

非常持出品として、
準備している。

避難場所や経路の下見に
行ってみようよ

「わが家の防災マップ」には、
この図などがカラーで載っているよ！

もしものときは、
近所さんどうし
団結して動こうね

家具の固定や配置も
考えてみようか！

情報ライブラリーに、
資料あったなあ～
他にもいろいろ！



すてっぴ館長おすすめ本

『私たちの3.11 豊中に避難してきた人たちの東日本大震災』 369・ト

豊中市社会福祉協議会編, 社会福祉法人・豊中市社会福祉協議会, 2011年

「避難所では、正確な情報がわからず混乱していました」「普通に過ごせることのありがたみを感じました」「大阪に来て感じたのは、温かい対応のありがたさです」などなど、11人の被災体験が綴られている。豊中市社会福祉協議会は、本書を編むにあたり、「私たちは、報道で語られなかった生活者の被災体験から、あの日、何が起こったのか、真実と教訓を学び、防災意識を高めることが大きな犠牲に応えていく大切なことだ」と考えたという。【中村彰】

